

さあオリンピック本番

親切な気持ちで迎えよう

オリンピックを機にたくさんの内外観光客がおとすれますが、これに対処して、国民運動を初めとして施設の整備など、精神的、物的の両面にわたって各種事業がすすめられてきました。そこで、今月号ではこれまでの

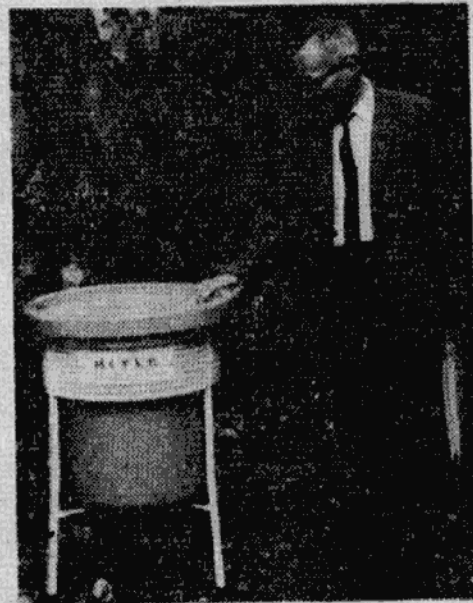
物的な整備状況をお知らせし、オリンピックを迎える私たちの

あり方などを考えてみたいと思います。

受入態勢まずOK

市では7月13日と9月10日に、市内関係者を招いて施設などの現地査察を行ない、出された改善意見にもとずいて応急処置を行なうなど、すでに完成をみた中宮河下水道事業をはじめとして、オリンピックを目標にいろいろの事業をすすめてきました。まず、環境衛生関係では、中宮河・湯元下水道と湯元簡易水道の整備、街路用ゴミ入れ容器の設置、ゴミ焼却場の新設（清滝と湯元に）、公衆便所の補修（西参道献饌所裏と公会堂前）などを行ないました。

また、施設関係では駐車場の設置（公会堂東側）苑地の整備（公会堂前と中禅寺湖畔）市道の舗装（西参道輪王寺前線の参道、国鉄前、裏見の滝道路）市庁舎の外部塗装替などを行ないました。このほか交通対策として公会堂と国鉄駅前の二カ所に信号機を設置するなど、オリンピック受入態勢はまず整いました。

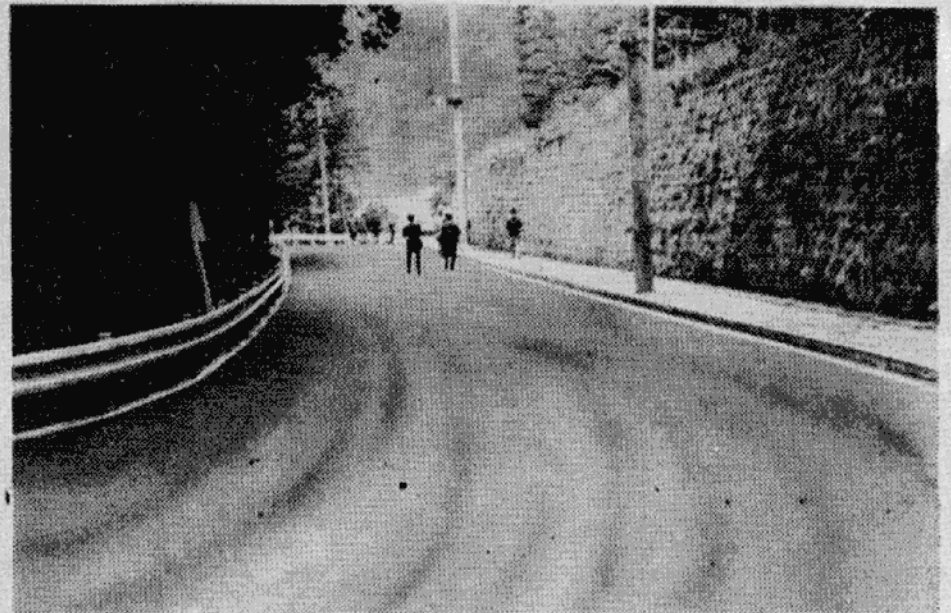


【写真 上ページユ色のリシン仕上に塗装替えした市庁舎】
【写真下 駐場車など市内13カ所（92個）に設置されたプラスチック製ゴミ入れ容器】

国鉄駅にユニークな団体待合所がお目見え

一方、市以外では県事業として有料便所の新設（山内と中宮祠に）、東武駅前広場の舗装、日光橋を起点とする日光沼田線の主要箇所の改良、田母沢橋の一方交通などがあげられます。また国鉄駅に外人専用団体待合所が建設されるなど、市内の各関係機関や市民が協力して自主的な対策事業がすすめられました。

参道の全面舗装なる西参道～輪王寺前線



【写真 アスファルト舗装された参道の一部】

文化観光施設税による整備事業のうち、去る7月から二区間に

分けて改良工事をすすめてきた参道（西参道～輪王寺前）がこのほど完成しました。

工事の概要は一部を除いて道路を広く、歩道を設け、輪王寺前から富士屋食堂前の国道に至る延長三百二十八、一五メートルの車道を全面アスファルト舗装にしたもので、工事費は約千五百万円かかりました。

この参道の完成によって人も車も便利になり、中央にリードライン（白線）をひいたり、歩道の新設によって、行きかう観光客の足どりの軽やかに安全通行ができるわけで、将来にわたって大きな期待がかけられています。

私たちの態度は国際親善を左右します

このように、いくら物的態勢が整えられても、市民ひとりひとりが外人客を迎える態度を身につけていなければ、せっかく作った施設などが無意味同然になってしまう可能性があります。外国人が受ける私たちの態度（印象）は、オ

リンピック後における日本と外国との親善関係が深められるかどうかをきめることにもなるわけですから、遠来のお客を迎えるには、できるだけ満足してもらえるような、あたたかい迎え方をしたいものです。

投書について

広報紙への投書は必ず住所氏名を明記して下さい。責任のない投書は解答しないことがあります。